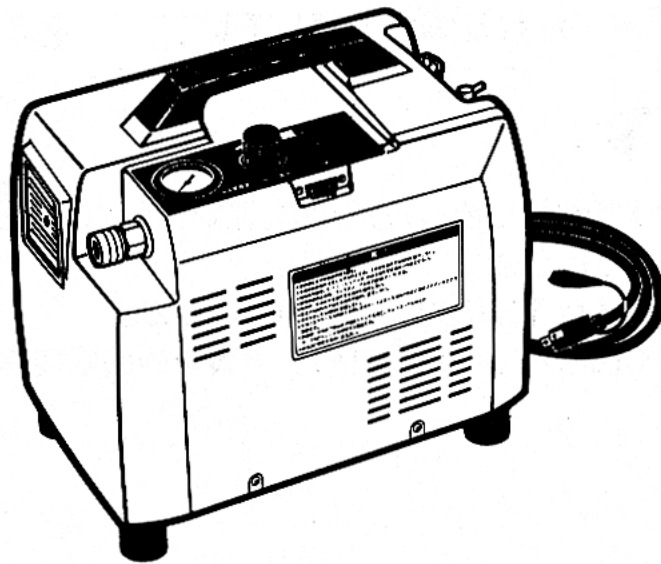


# マックスエアコンプレッサ

# AK-602P

## 取扱説明書



### ⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- 感電事故防止の為、アースクリップを必ず接地（アース）する。
- 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。
- 高温や直射日光が当たる場所で絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホースを接続する前に必ずホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ず電源スイッチを切り、ドレンコックをゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- 改造及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

**MAX**®

このたびはマックスエアコンプレッサをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ **警告**：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ **注意**：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、コンプレッサ本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

### 現品の確認

●コンプレッサが到着しましたら次の確認を行ってください。

●ご注文の製品かどうか。

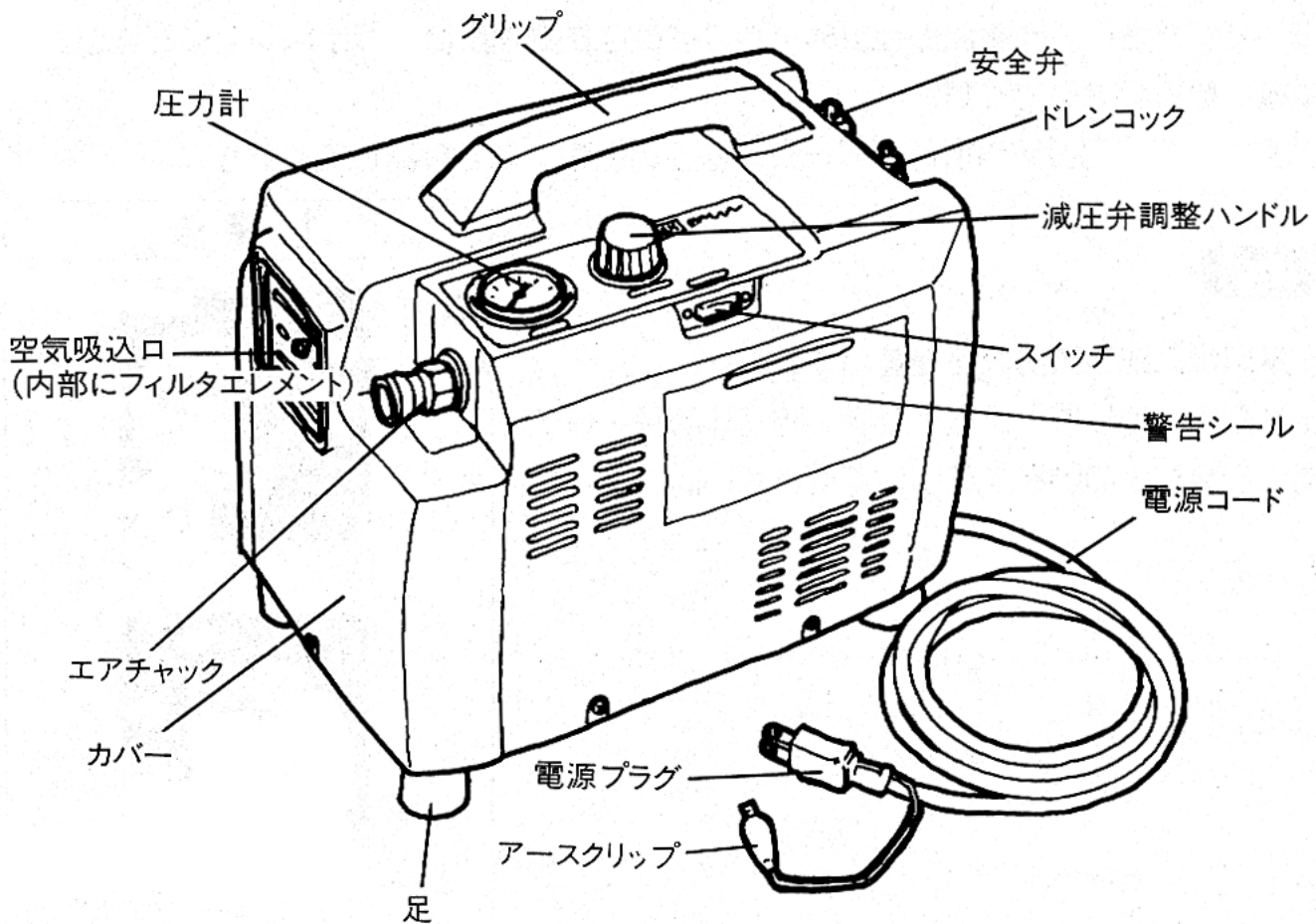
●輸送による破損や部品の紛失がないかどうか。

※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご相談ください。

## 目次

1. 各部の名称 .....	1
2. 安全作業のために .....	2
3. 安全装置について .....	11
4. 仕様 .....	12
5. 使用方法 .....	13
6. 運転中の異常 .....	17
7. その他の留意点 .....	18
8. 性能を維持するために .....	19

全国販売拠点、サービス拠点一覧



### 主要部品機能説明

#### ① 圧力計

使用圧力を確認します。

#### ② 減圧弁調整ハンドル

適正な使用圧力に調整します。

#### ③ 電源スイッチ

電源の入・切 (ON・OFF) をします。

#### ④ ドレンコック

一日一回以上作業終了後に圧縮空気とドレン (水など) を抜きます。

#### ⑤ フィルタエレメント：空気吸込口内部

定期的に清掃してください。(19ページ参照)

#### ⑥ 安全弁

使用毎に作動状態を確認してください。(14ページ⑧・11ページ参照)

本機は、自動釘打機などの空気工具の空気源となるエアコンプレッサです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また本機に触らせないでください。

㊟ 文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称」にて確認してください。

### 作業前

#### ① 作業環境に応じた防具等を着用する。

作業環境に応じて、保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

#### ② 使用前に必ず点検する。

電源プラグを、コンセントに接続する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり傷んでいないか。
3. 電源プラグ・コードに異常がないか。

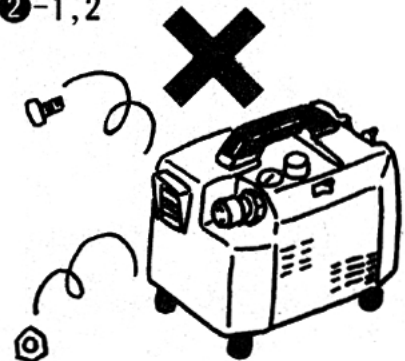
不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

### ⚠ 警告

①



②-1,2



## 2

## ⚠ 警告

## 安全作業のために

## ③必ず指定電圧で使用する。

必ずAC100Vのコンセントで使用してください。指定電圧以外の使用は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

## ④本機の電源に昇圧機などのトランス類は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。

## ⑤エンジン発電機や直流電源では使用しない。

故障の原因や焼損の原因になります。詳しくは、お買い求めの販売店又は、弊社担当者にお問い合わせください。

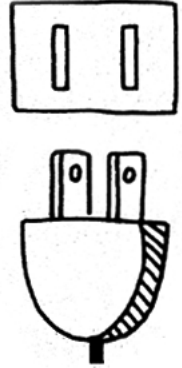
## ⑥本機の設置場所についての注意

## 1. 硬く水平な場所に必ず設置する。

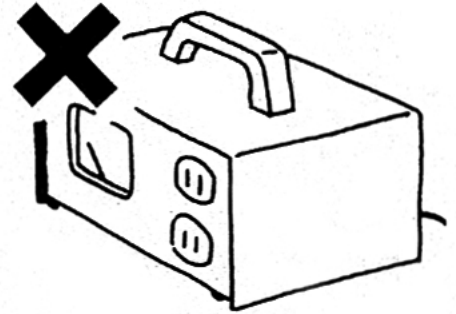
不安定な場所には絶対に設置しない。移動や落下の危険性のある場所には絶対に設置しないでください。

## ⚠ 警告

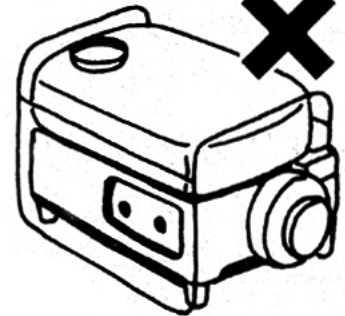
③

AC  
100V

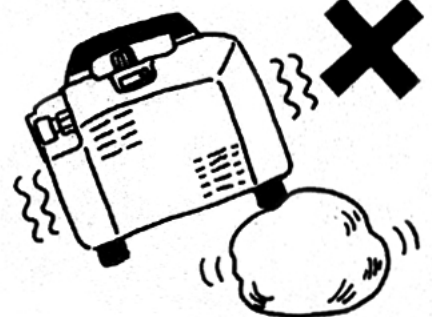
④



⑤



⑥-1



2. 火気や燃えやすいもののそばには絶対に設置しない。

本機は使用時に整流火花を発生します。塗装用コンプレッサとしてご使用になりますと引火爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

3. 高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。

4. ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。

5. 雨の中や水のかかる場所・湿気の多い場所には絶対に設置しない。

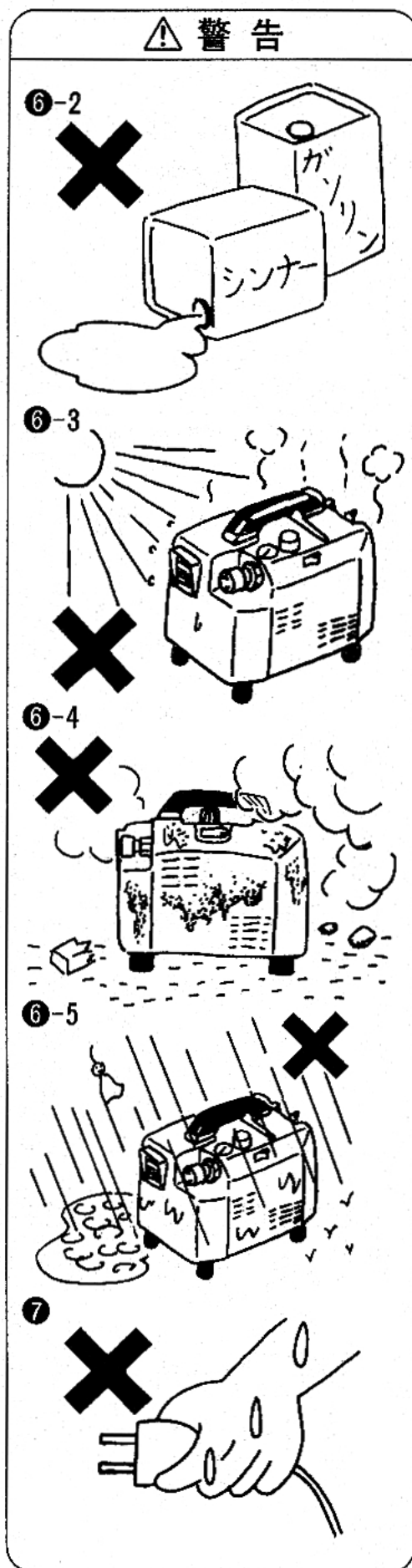
水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対にしないでください。

6. 適正な設置方向に必ず設置する。

1ページ「各部の名称」イラストを参考に適正な設置をしてください。

7. 濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと感電する恐れがありますので、絶対にしないでください。



⑧感電事故防止の為、アースクリップを必ず接地（アース）する。

アース線をガス管等に取り付けることは危険ですので、絶対に接続しないでください。

※アースの埋め込みやアース線を接続するような工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談してください。また接地と共に漏電しゃ断器の設置された電源に接続されることをおすすめします。

⑨電源コードは大切に扱う。

電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリースなどに触れないように注意してください。電源コードが損傷した場合は修理に出してください。

⑩本機の通風孔や回転部（ファン部）などに異物を入れない。

感電や故障、事故の原因となります。

⑪正しい服装で作業する。

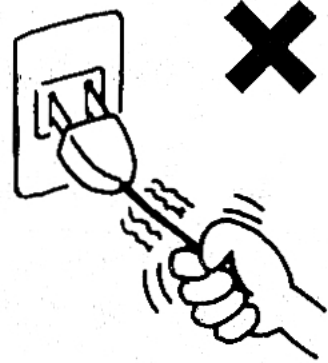
回転部（ファン部）などに巻きこまれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

警告

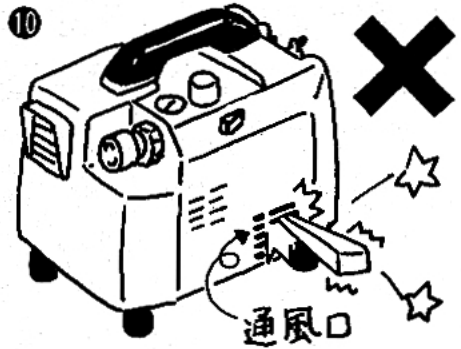
⑧



⑨



⑩



⑪



⑫本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

⑬本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は、使用しない。

13ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

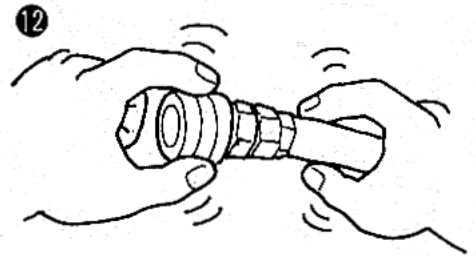
※下記の場合は、故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. 運転開始後、10秒以上待ってもモータが自動停止しない。
2. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
3. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・下降）しない。  
異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

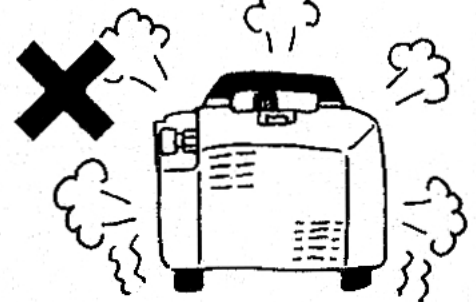
⑭大切に扱う。

落としたり、ぶついたりすると故障の原因となります。落としたり、ぶついたりした場合は、外観上異常がなくても、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱へ点検に出してください。

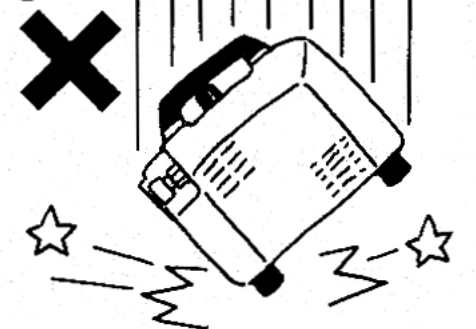
## ⚠ 警告



⑬-2



⑭





## 2

## ⚠ 警告

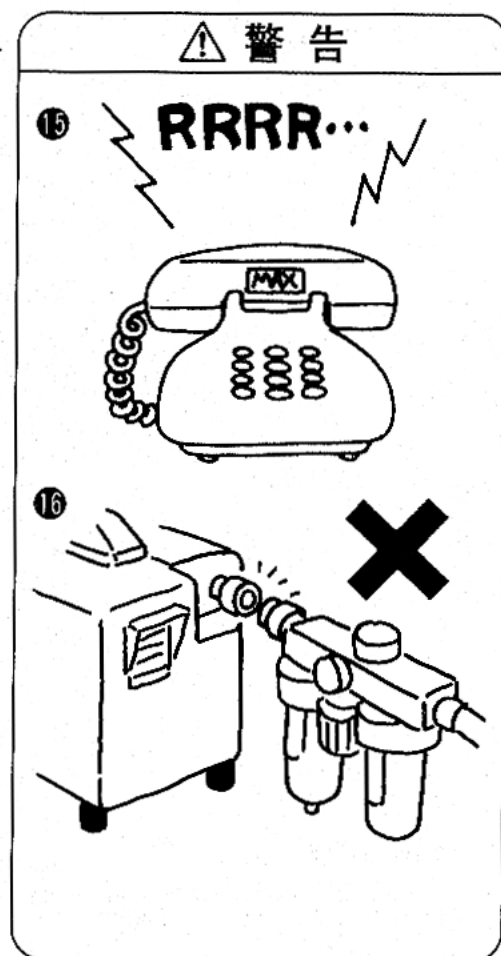
## 安全作業のために

⑮本機を長時間連続して運転する用途には使用しない。

釘打機のエア源以外の用途や、長時間連続運転となる用途に使用する場合は、あらかじめ必要性能などを取扱い販売店や弊社担当者に確認してください。

⑯コンプレッサのエアチャックに、直接3点エアセット等の重量物を取付けない。

コンプレッサの振動で本機の故障を招くおそれがあります。



## 作業中

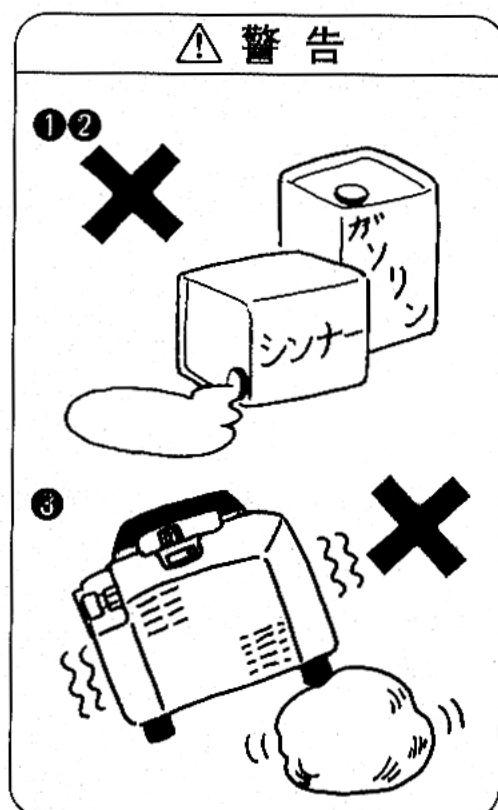
⑰揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。

⑱火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。

⑳不安定な場所では絶対に使用しない。

移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。



④ 高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。

⑤ ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所では使用しない。

⑥ 適正な設置方向で必ず使用する。

1ページ「各部の名称」イラストを参考に適正な設置をしてください。

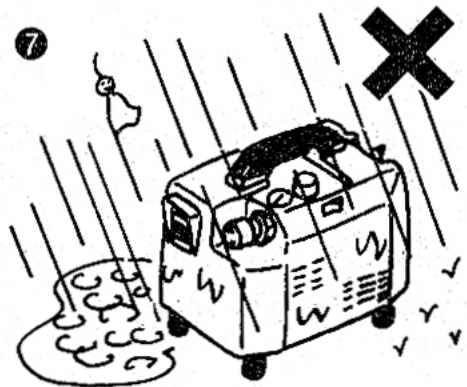
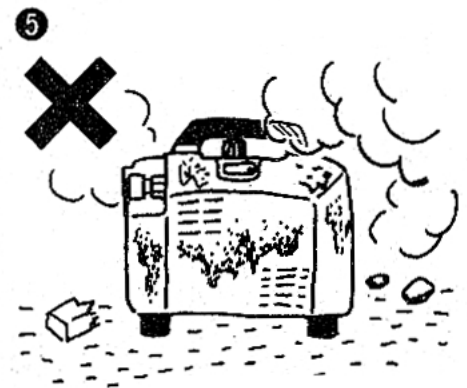
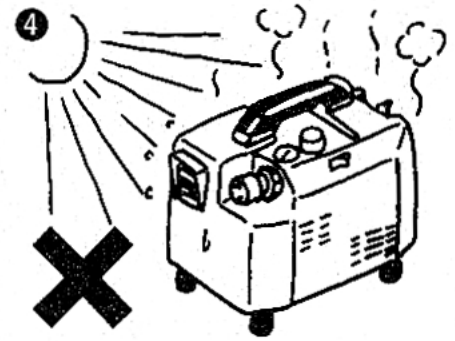
⑦ 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故のもととなります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

⑧ 箱の中や狭い場所（密閉された車内など）では絶対に使用しない。

異常発熱をまねき、故障・事故の原因となります。

## ⚠ 警告



⑨ 上部に座ったり、物をのせることは絶対にしない。

⑩ 回転部（ファン部）などには絶対に異物や手を近づけない。

回転部にはさまれたり、巻き込まれたりして怪我をすることがありますので絶対にしないでください。

⑪ 運転時、運転直後のモータ・空気タンク等、金属部は絶対に素手で触らない。

空気の圧縮熱で高温になっていることがありますので、火傷をする恐れがあります。移動などは、熱が下がってから行なってください。

⑫ 異常を感じたら絶対に使用しない。

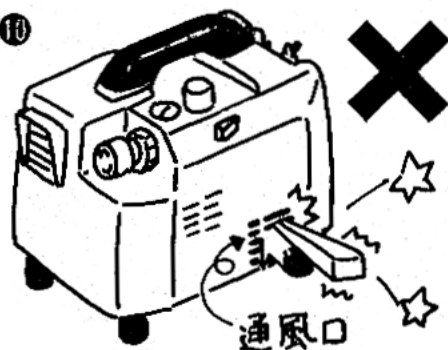
機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜き、使用をやめ、点検・修理に出してください。

⚠ 警告

⑨



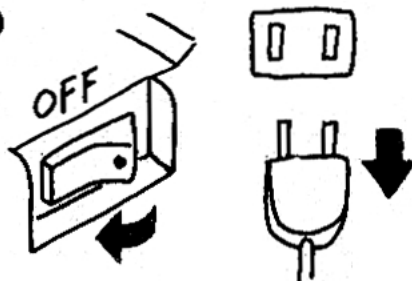
⑩



⑪

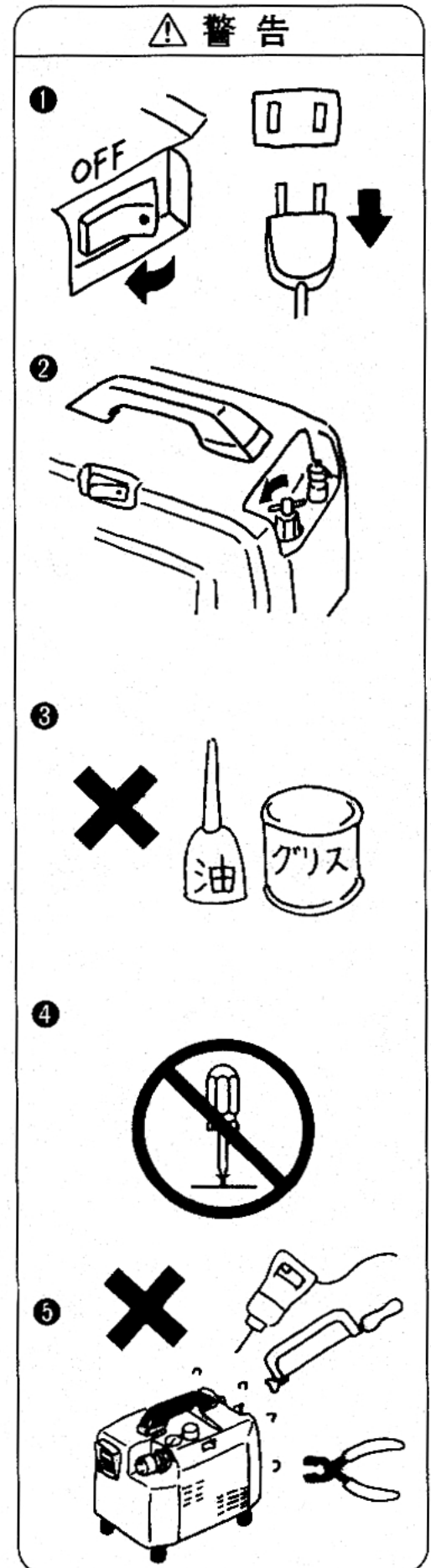


⑫



## 作業後

- ① 作業終了時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 作業終了時には、ドレンコックをゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- ③ 本機を大切に手入れする。  
より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。
- ④ 本機を分解しない。  
万一故障した時は、点検・修理に出してください。
- ⑤ 本機に改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。  
本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



## 3 安全装置について

### ⚠ 警告

- 作業前には、本機が正しく作動するか確認する。また異常を感じたら絶対に使用しない。

本機には安全を確保するため次のような安全装置がついています。

#### ●安全弁

本機は圧力スイッチにより、エアタンク内圧が約8kgf/cm<sup>2</sup> (0.79MPa) に達すると自動的にモータの運転を停止します。圧力スイッチの故障によってエアタンク内圧が異常高圧になった場合、安全弁より音を発し、エアタンク内圧を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱に点検・修理に出してください。 〈図-1〉



※圧力スイッチおよび安全弁の設定圧力の調整はできません。

※本機の圧力スイッチは、機体(カバー内)に設けられています。

# 4 仕様

項 目	商 品 仕 様
商 品 名	マックスエアコンプレッサ
商 品 記 号	AK-602P
寸 法	高さ335×幅245×長さ370mm
重 量	13kg
制 御 方 式	圧力スイッチ式
モ ー タ	単相直巻整流子式600W
使 用 電 源	AC100V
負 荷 電 流	10A
回 転 数	毎分2700rpm
最 高 使 用 圧 力	8.0kgf/cm <sup>2</sup> (0.79MPa)
吐 出 量 (7kgf/cm <sup>2</sup> 運 転 時)	65 ℓ /min
気筒径(mm)×行程(mm)×気筒数	60×21×1
エ ア タ ン ク 容 量	1.5 ℓ
減 圧 弁 の 圧 力 調 整 範 囲	0～7kgf/cm <sup>2</sup> (0.69MPa)
安 全 弁 の 設 定 圧 力	9.5kgf/cm <sup>2</sup> (0.93MPa)
エ ア 取 出 口	エアチャック1ヶ所

# 5 使用方法

## 運転前の点検・確認

### ⚠ 警告

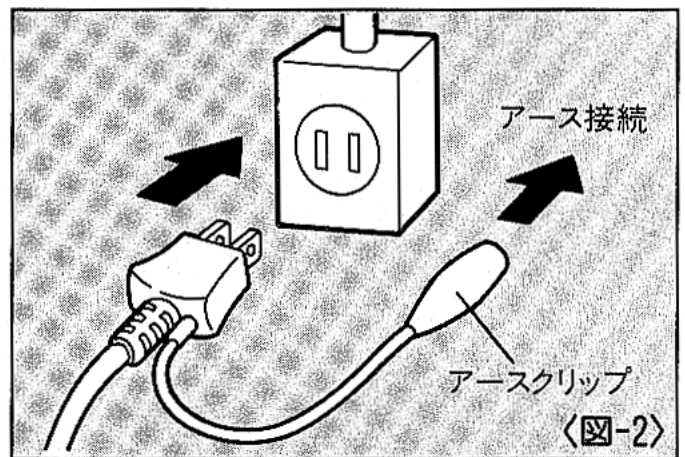
- 使用前にボルトナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 必ず指定電圧で使用する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。

※2ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。

※文中の圧力数値については、圧力計の読み取り誤差を含んでいません。

- ①電源はAC100Vを使用し、本機の電源スイッチを切った（OFFにした）状態でアースクリップを接地（アース）してから電源プラグをコンセントに差込みます。

〈図-2〉



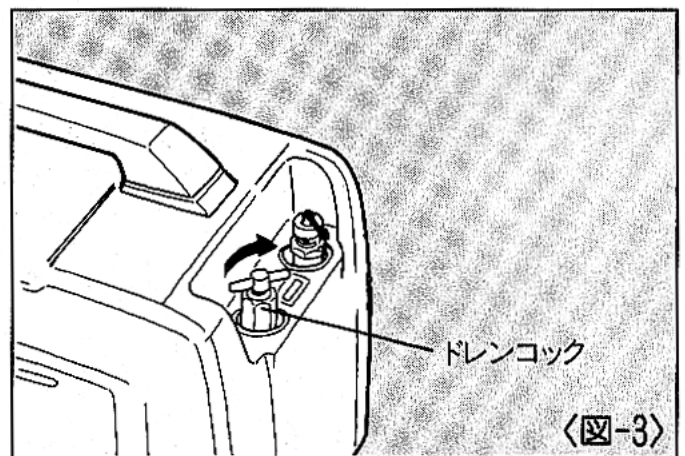
- ※やむを得ず延長コードを使用する場合は15A以上で有効断面積が1.25mm<sup>2</sup>以上、長さ30m以内の電線としてください。

- ②ドレンコックを全開に緩めて（左回し）おいて、電源スイッチを入れ（ONに）します。

- ③モータが回転し、ドレンコックから空気が出ていることを確認してください。

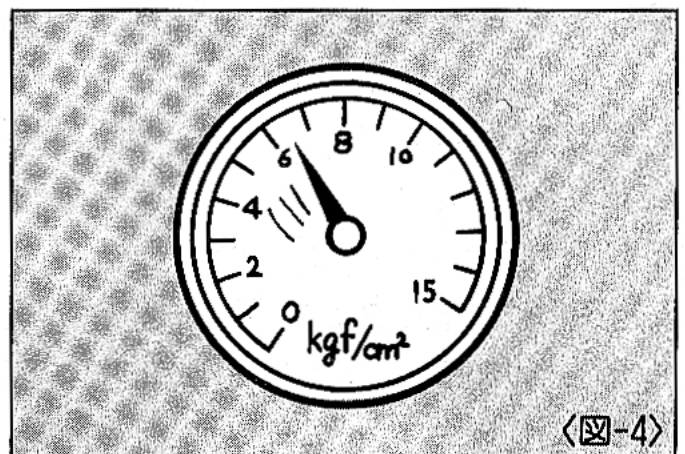
- ④ドレンコックを締めて（右回し）、ドレンコックからエアもれが無いことを確認してください。

〈図-3〉

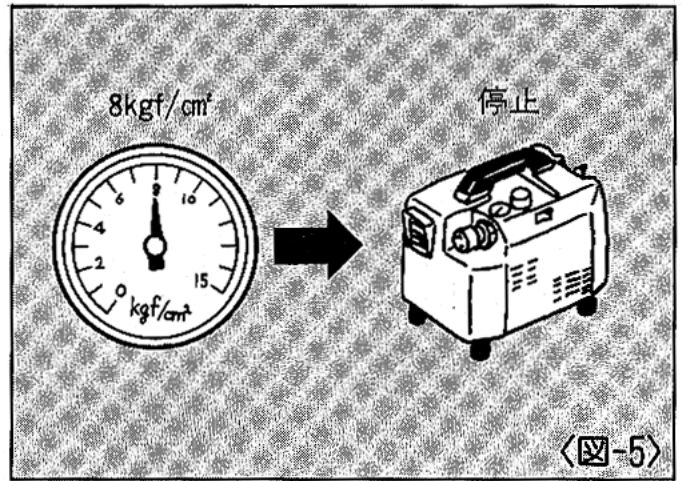


- ⑤減圧弁調整ハンドルを、止まるまで右回転させ圧力計の指針が動く（上昇する）ことを確認してください。

〈図-4〉

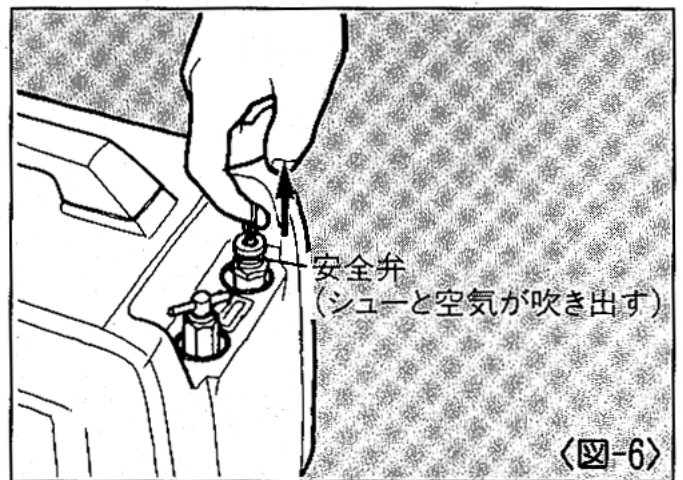


- ⑥ 8秒程度で圧力計の指針が約8 kgf/cm<sup>2</sup> (0.79MPa) 前後になると自動的に圧縮運転が停止することを確認してください。 <図-5>

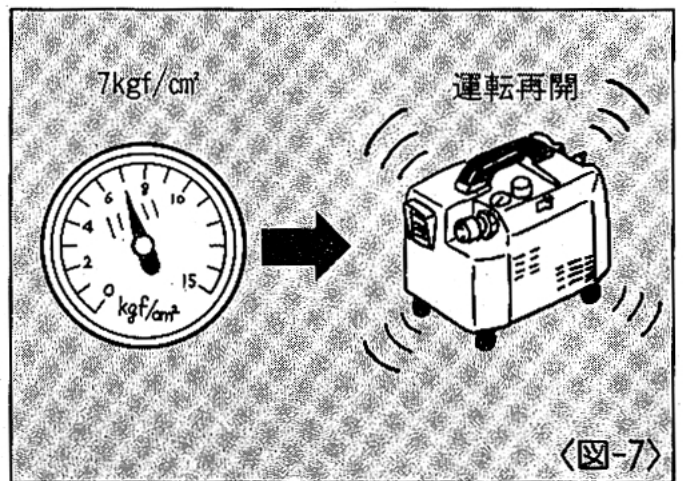


- ⑦ 運転停止後、5分程度待つて、異音・エアもれや再起動運転しないことを確認してください。

- ⑧ 安全弁リングに指を掛けて軽く上に引っ張ると安全弁からシューと空気が吹き出すことを確認してください。 <図-6>

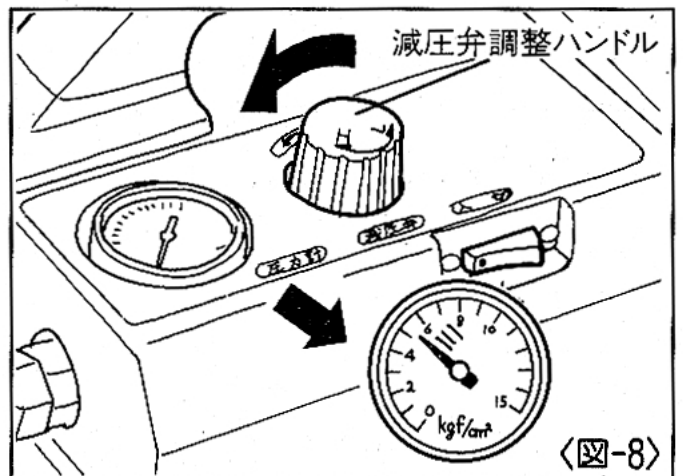


- ⑨ ドレンコックを少し緩め (左回し) 圧縮空気を排出します。圧力が約7 kgf/cm<sup>2</sup> (0.69MPa)まで降下すると、運転が再開することを確認してください。 <図-7>



- ⑩ ドレンコックを締めて (右回し) 圧縮運転中に電源を切り (OFFにして) 運転が停止することを確認してください。

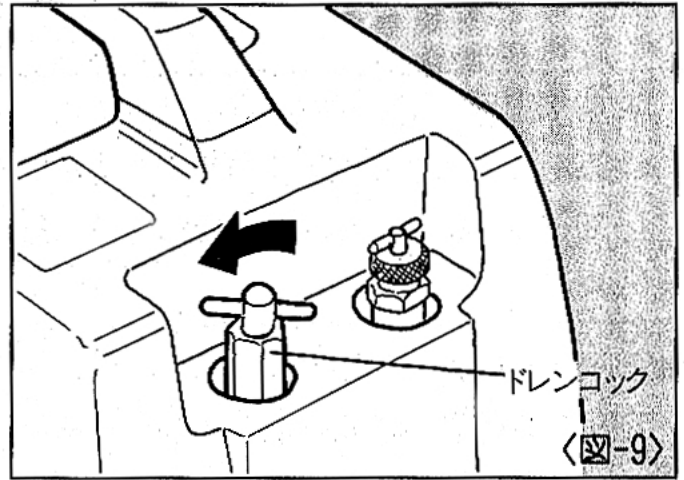
- ⑪ 減圧弁調整ハンドルを、左回転させ圧力計の指針が下がる (エアもれ音が発生することがあります。)ことを確認してください。 <図-8>





- ②ドレンコックを緩め(左回し)、エアタンク内の圧縮空気とドレンを全て排出してください。〈図-9〉

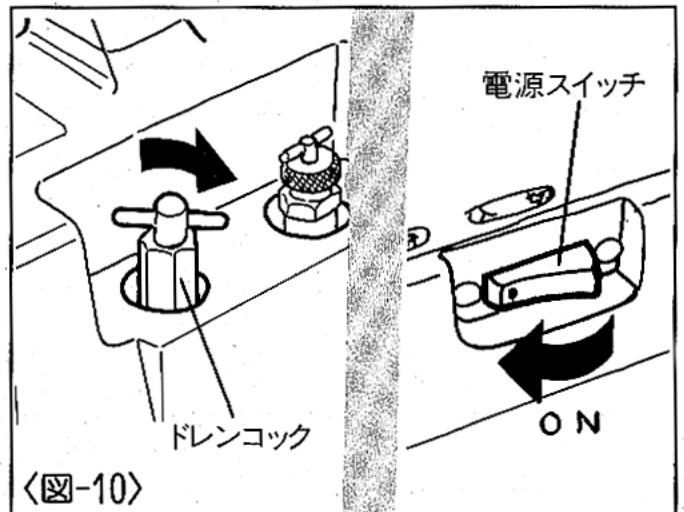
運転前の点検・確認で異常のある場合は、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。



### 使用手順

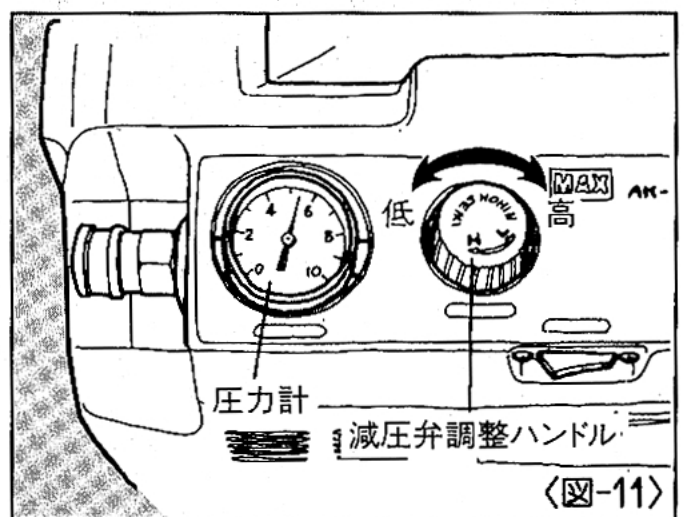
使用する場合は必ず13ページ「運転前の点検・確認」を行なってください。

- ①ドレンコックを締め(右回し)電源スイッチを入れ(ONに)します。〈図-10〉



- ②圧力が上昇して運転が停止しましたら、減圧弁調整ハンドルを回して空気工具の適正な使用圧力に調整してください。減圧弁調整ハンドルを右に回すと供給圧力が高くなり、左に回すと低くなります。

〈図-11〉



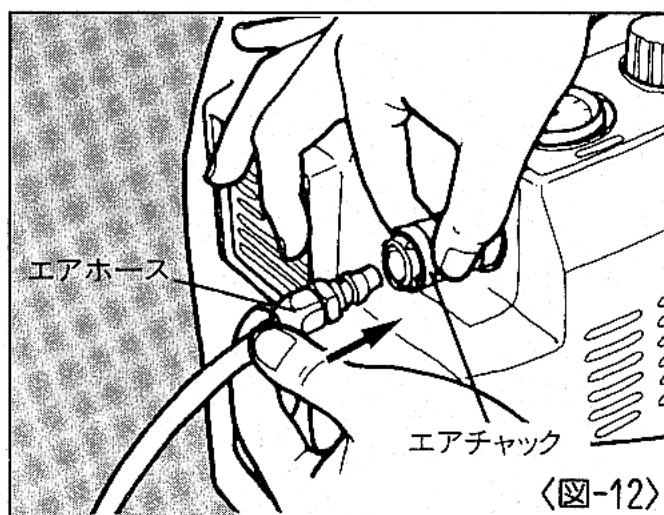
## ⚠ 警告

### ●空気工具の使用空気圧を必ず守る。

減圧弁によって供給圧力を調整しないで空気工具を使用すると、空気工具の性能を著しく低下させたり、寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

※不適正な圧力（必要以上に高い圧力）で空気工具を使用すると空気消費量が増加し、空気工具の使用性能が著しく低下することがあります。必ず適正圧力に調整して使用してください。

- ③供給圧力の調整が終わりましたら、空気取出口（エアチャック）にエアホースを接続して作業が開始できます。〈図-12〉



## ⚠ 警告

- 本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

# 6

## 運転中の異常

### ⚠ 警告

- 異常を感じたら絶対に使用しない。

次のような異常を感じた時は、直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）電源プラグをコンセントから抜き、使用をやめ、お買い求めの販売店又は最寄りのマックスサービス㈱まで、点検・修理に出してください。

- ①電源、配線に問題が無いのに。
  - 電源スイッチを入れても作動しない。
  - モータがうなる。等の現象が出る。
- ②運転中に異常な音がる。
- ③圧力スイッチが作動せず安全弁が作動し、空気が吹き出す。
- ④空気圧が8 kgf/cm<sup>2</sup> (0.79MPa) 以下のときに安全弁が作動し、空気が吹き出す。
- ⑤空気が漏れている。
- ⑥圧力が上昇しない。
- ⑦金属部に触れるとビリビリする。
- ⑧上記以外でも使用中に異常を感じる。

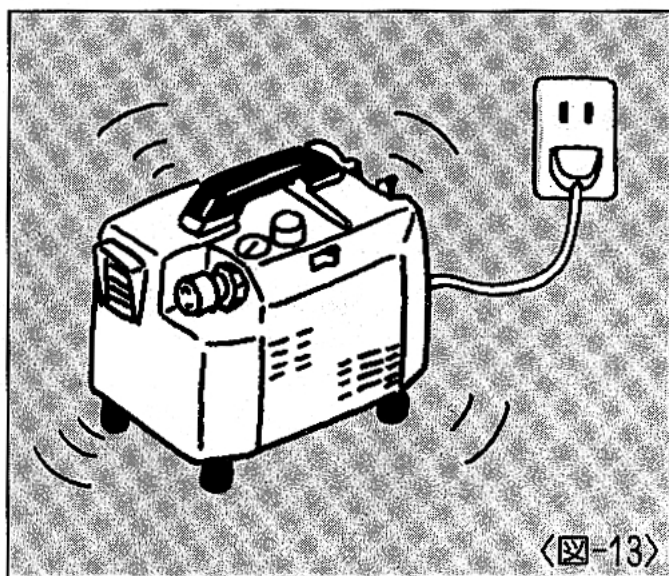
## 7 その他の留意点

### ①本機を寒冷地で使用する場合

凍結による作動不良を防止するため。

④本機をあらかじめ暖めてから運転する。

⑤電源プラグを直接、元電源に接続し暖気運転（ドレンコックを開放したまましばらく運転させる）の後、使用する。止むを得ず延長コードを使用する場合は、上記の措置を行なった上でコード断面積が太く（1.25mm<sup>2</sup>以上）短いコードを使用してください。 <図-13>



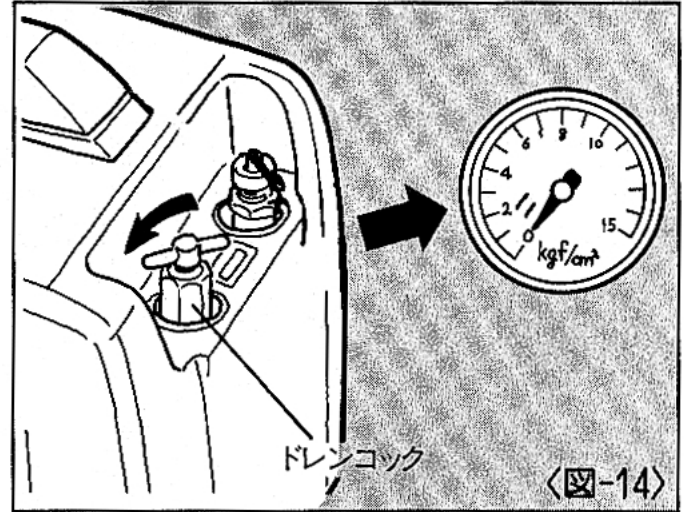
# 8

## 性能を維持するために

### ①本機の水抜きをする。

作業終了時は、ドレンコックを開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。〈図-14〉

※水抜きを行わないとエアタンク内に錆が発生し、故障の原因となります。



### ②定期的に点検する。

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行なってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申し付けください。

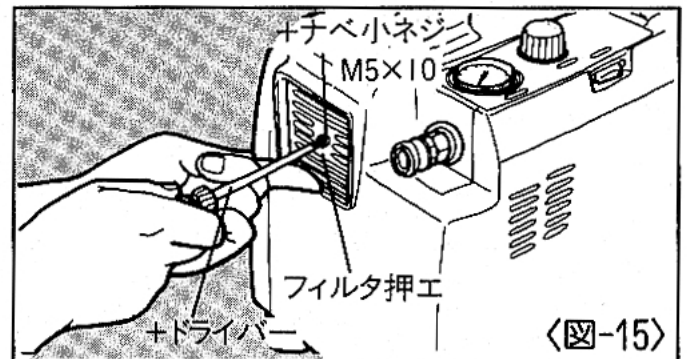
※フィルタエレメントにゴミやホコリがつかると、空気の吸い込みが悪くなり、吐出空気量が低下しますので、月に一度エアダスタ等でホコリを落としてください。

※コンプレッサの清掃には別売りのエアダスタが便利です。エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。

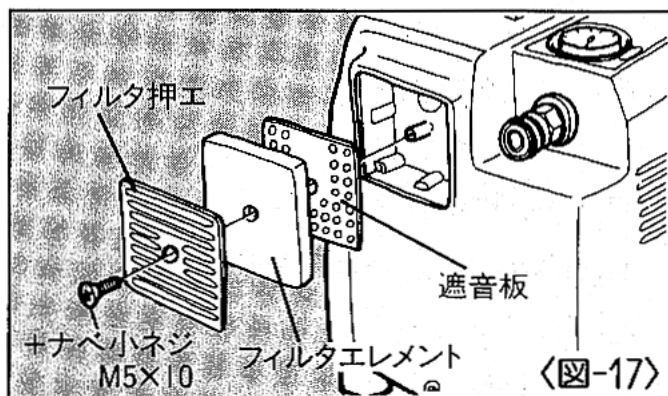
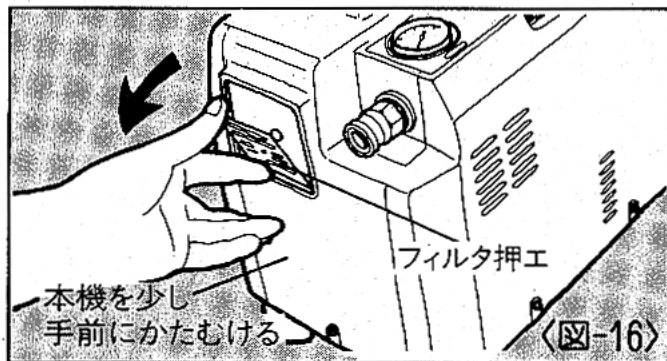
### ●フィルタエレメントのはずし方

#### 手順

①フィルタ押エに付いている+ナベ小ネジを+ドライバーではずします。その際、必ず片一方の手で図のようにフィルタ押エをささえておいてください。〈図-15〉



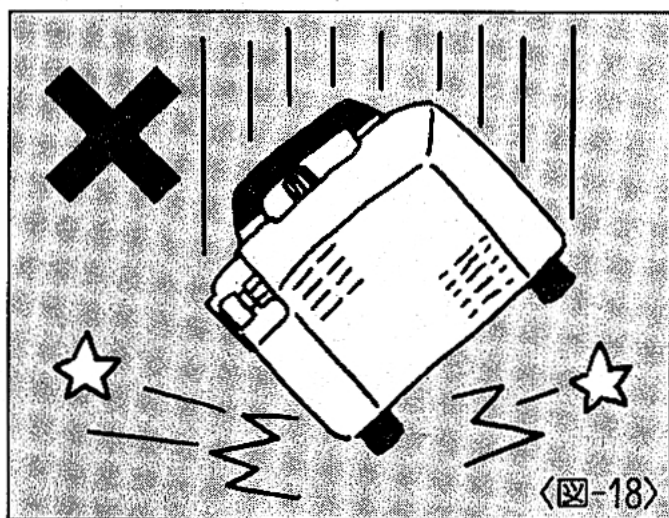
- ②本機を少し手前にかたむけてフィルタ押し工他をはずします。〈図-16〉〈図-17〉
- ※本機はモータの損傷を防ぐためにオートカットブラシを採用しております。使用時間が150時間を超え、モータが停止しましたら、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出し、カーボンブラシも交換してください。



③本機を大切に扱う。

落としたり、ぶついたり、叩いたりしますと変形・亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶついたり、叩いたりしないでください。

〈図-18〉



④使用毎に必ず点検する。

2ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行なってください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121代
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118代
札幌店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141代
仙台店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121代
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531代
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031代
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331代
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416代
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541代
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012代
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500代
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051代
川崎営業所	〒213-0032	川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地1F	TEL(044)844-4700代
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300代
岐阜営業所	〒501-6016	羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551代
泉州営業所	〒596-0825	岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211代
神戸営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220代
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347代
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112代
水戸マックス(株)	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761代
群馬マックス(株)	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123代
埼玉マックス(株)	〒331-0044	大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341代
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400代
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661代
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377代
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740代
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116代
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871代
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182代
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378代
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061代
兵庫マックス(株)	〒673-0404	三木市大村109-1	TEL(0794)83-2121代
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516代
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599代
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286代
松山営業所	〒790-0951	松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608代
マックスサービス(株)本社	〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448代
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815代
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210代
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430代
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670代
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778代
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487代

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358  
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。